



# 政策立案 予算シミュレーション

～AIが、あなたを定時で帰す～

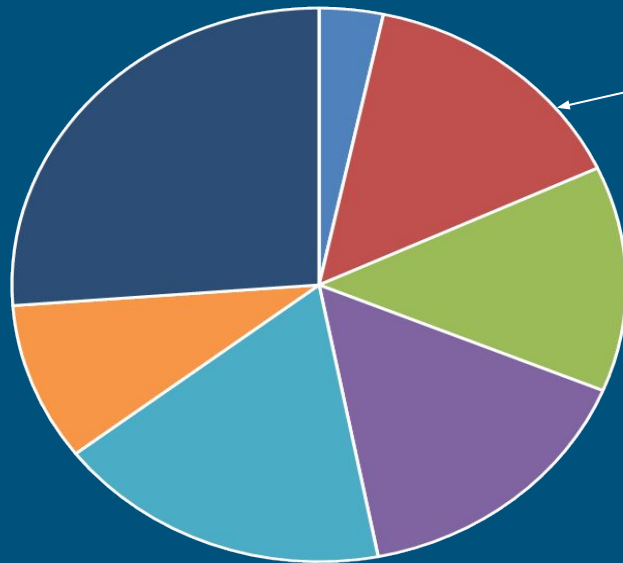


チーム:ごきげんよう



残業理由別割合

政策立案者の  
残業



□大規模災害への対処

□他国又は国際機関との重要な交渉

□予算・会計関係業務

□国会対応業務

□重要な政策に関する法律の立案

□新型コロナウイルス感染症対策関連業務

□人事・給与関係業務

# 現状

---

- ・政策立案において、類似の事業を検索する時間が多く、業務の時間が長引いてしまっている
- ・政策立案フローにおいて、信頼性のある壁打ち相手を増やしたい

☆同じような政策立案をする際に、その政策に再検討の必要性が生じることで、行政コストがかかる



# 理想状態

---

- ・政策立案において壁打ちできる相手がいる
- ・過去における類似の政策についての検索ができる

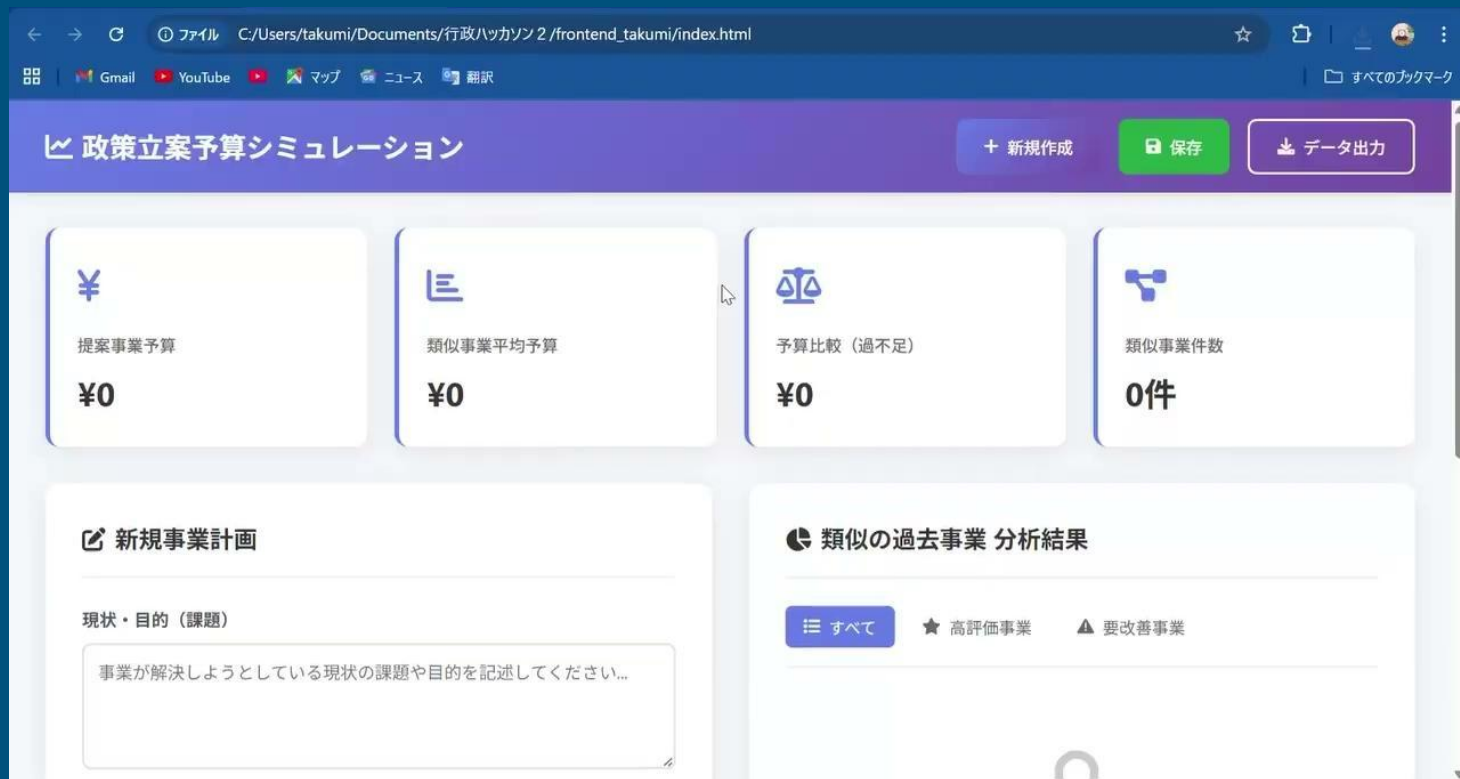


解決策

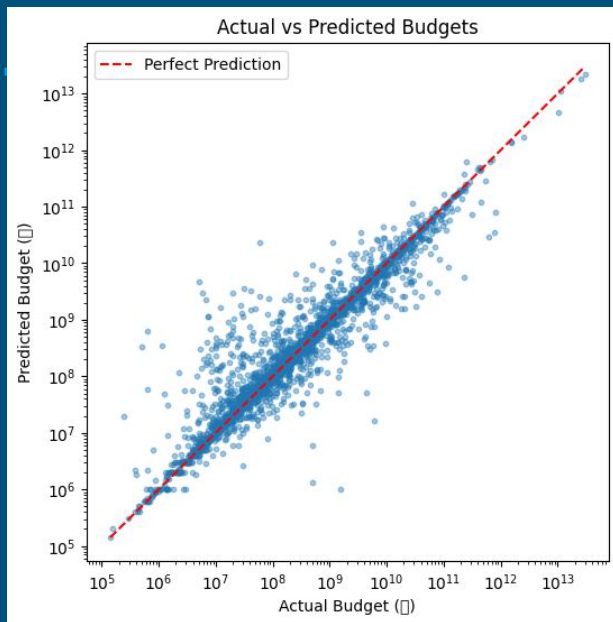
---

○政策立案のための予算を検索  
をするサービス

# Webアプリ「政策立案予算シミュレーション」



# 予算予測モデルの妥当性の確認



赤線＝理想（完全一致線）、点が線に近いほど精度が高い

多くの点が赤線付近に分布 → **スケール感**は正しく捉えている

横軸＝実際の当初予算、縦軸＝予測予算

誤差のばらつきは残るが、**実務的な妥当性のスタート地点**を確認した

# Webアプリにおける副次的な利用メリット

---

## AIアシスタントの活用

- ・リスク評価ができる
- ・政策立案にかかる残業代が、別の予算にまわせる

## 官僚の専門性

- ・トップダウン式の政策立案をする際、官僚の持つ専門性を発揮しやすい状況になる
- ・公式のデータを使用しているため、利益を追求する民間組織にはできない



# 今後の展望1

---

## 現状の限界

文字情報のみを用いた予算予測

全省庁を一括で学習

類似事業に基づく大枠の予算推定は可能  
だが、精度にばらつき

## 改善の方向性

省庁ごとの分類

事業の目的ごとの分割

テキスト以外の情報活用

文字列ベースのシンプルな予測から、政策文脈を反映したモデルを目指す

## 今後の展望2

---

### ・ボツ案のデータベースを加える

→過去の経験を学び、現行の政策立案の思考フローを効率化させることができる

・突発的な事象（災害やシステム障害、感染症拡大など）のデータベースを加える

## 今後の展望3

---

☆一般人向けに「政策立案予算シュミレーション」の仕様を変更した**戦略ゲーム**を開発する

→社会をより良くしたい国民のニーズと、国民が政策自体に対する関心の深めてほしい行政のニーズをマッチするツールにする

## 参考文献

---

※1. 人事院事務総局職員福祉局 上限を超えて超過勤務を命ぜられた職員の割合等について(令和3年度)

<https://www.jinji.go.jp/content/900042172.pdf>

---

ご清聴ありがとうございました